

2023年二級設計製図試験 講評

TAC建築士講座 専任講師 岡部 正昭

2023年9月10日に実施された二級建築士設計製図試験問題の講評をいたします。

1.全体講評

今回の問題は、多目的室とその他の住宅部分でアプローチ動線とゾーニングをしっかりと整理してプランニングする必要があり、「専用住宅」の課題の中では難しい内容だったと思います。また、南側の良好な眺望を考慮すること、多目的室を土間仕上げとし、その土間の矩計を書く必要があること、2方向道路の敷地で設置階適宜の部屋があるため多様なプランが可能なこと、居間・食事室・居間の上部に吹抜けを設けることなど多くの設計条件がありました。これらよりこの問題の難易度は、「標準的からやや難しい」であったと思います。

しかし、TACで学習された方なら、これらの全ての内容に対して学習できていたもので、逆に簡単に感じた方も多かったのではないのでしょうか。

今回の合格ポイントは、

- ・駐車スペースからの動線をしっかりと整理すること
- ・主要な居室を南面に面するプランをつくること
- ・そしてしっかりと描きあげること

だと考えます。

2.ポイント解説

i) 公園に隣接する敷地

昨年に続き隣地に公園がある敷地条件です。昨年との違いは「南側に広がる公園の良好な景観を眺望できる計画とする。」と設計上の要求内容がはっきりしていることです。主要な居室を南面に配置して、しっかりと開口部を設けるプランとすることで、この条件はクリアします。

TACでは「南側の良好な景観を生かして眺望を考慮する」とほぼ同じ要求条件の課題を学習していただきましたので、受講生の方は、とまどうことなく対応できたかと思います。

ii) 多目的室に専用の出入口

過去の「専用住宅」の課題を見てみると、住宅以外のアプローチを必要としない設計条件が大半です。アプローチが複数本ある方が当然プランニングの難易度があがりますし、今回の問題のように2方向接道の場合、様々なプランが可能となります。今回の問題は、適度にプランニングの多様性がありますので、試験問題としてとても良い加減の設計条件だと思いました。

TACでは、ずばり2方向接道の複数アプローチのパターンを、2回にわたって講義で取

り上げましたので、多くの受講生の方が対応できたと思います。

iii) 土間仕上げの多目的室

仲間を招いての集いが行える土間仕上げのスペースとして多目的室が要求されました。更に、矩計図の切断位置はその多目的室が指定されたので、土間仕上げの矩計図を描く必要がありました。標準的なフローリングの床の場合しか覚えていない人は面くらったかもしれません。

TACでは、この土間仕上げの矩計図についてもズバリ課題の中で学習いただきましたので、これも問題なく対応できたかと思います。

iv) 吹抜けのある居間・食事室・台所

居間・食事室・台所に 10 m²以上の吹抜けを設けるという設計条件が付きまして。これは、1階と2階の上下のつながりが必要であり、プランを難しくする要素です。南側に良好な景観がある、という条件ですので、やはり南面に居間を配置してその上部に吹抜けを設けることが妥当と思います。

こちらもTACでは、課題の中で学習済みでしたね。

v) 階段の蹴上踏面の指定

階段の要求条件は、近年は「蹴上 180 mm以下踏面 225 mm以上とする」条件が多かったのですが、今年は「安全を確保するために、踊場を設ける。」とされました。踊場とは階段の中間部分に設けるやや広めの平らな部分のことで、建築基準法では、住宅の場合「幅 75cm以上、直階段の場合の踏み幅は 1.2m」となっています。これらより階段の折り返し部分に段を設ける「回り階段」としない階段が要求されたと考えます。

TACでは、今回は特に安全に配慮した階段として「回り階段」でない階段を学習いただきました。今回の問題は幅 2P 奥行 2.5P 段数 15 段の階段で対応いただければ良かったと思います。

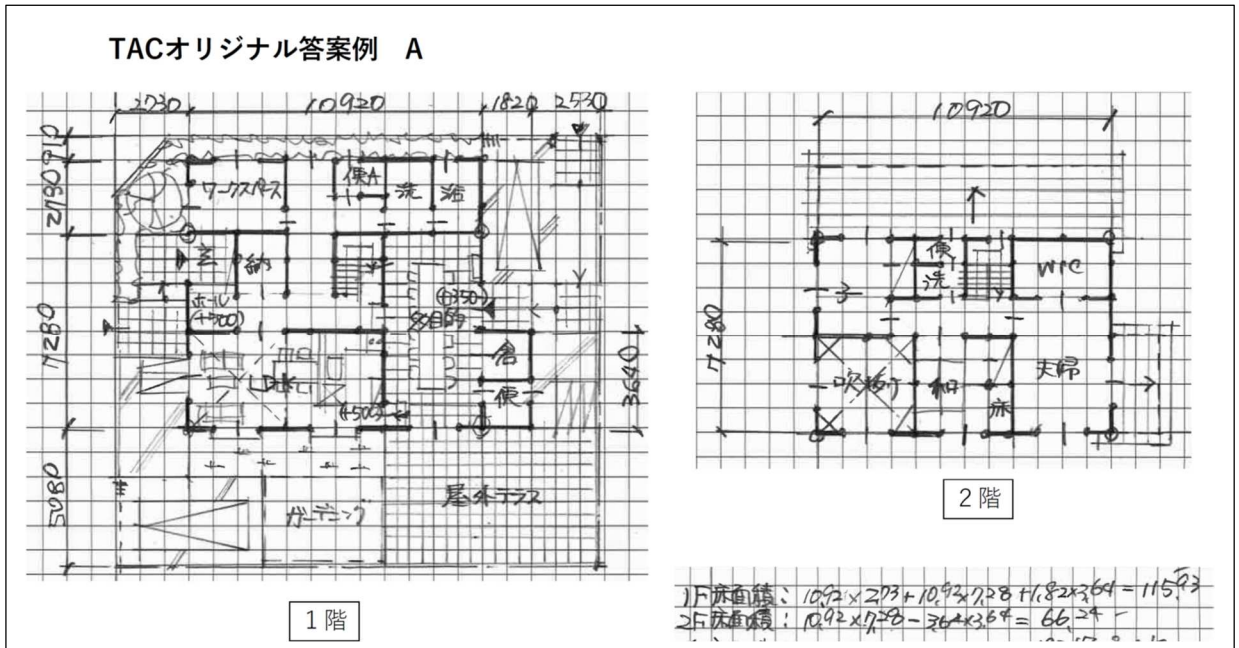
vi) 屋外スロープ

屋外スロープは「必要に応じて設ける」として出題されました。また、多目的室の設計条件の中に「駐車スペースからの荷物の搬入にも配慮する」とあります。これらから今回の問題では、多目的室の出入口へのアプローチにスロープを設ける、勾配の指定はないが、1/12程度で設ければ良い、と考えられます。

以上、主なポイントについてみていただきました。では、オリジナル答案例です。

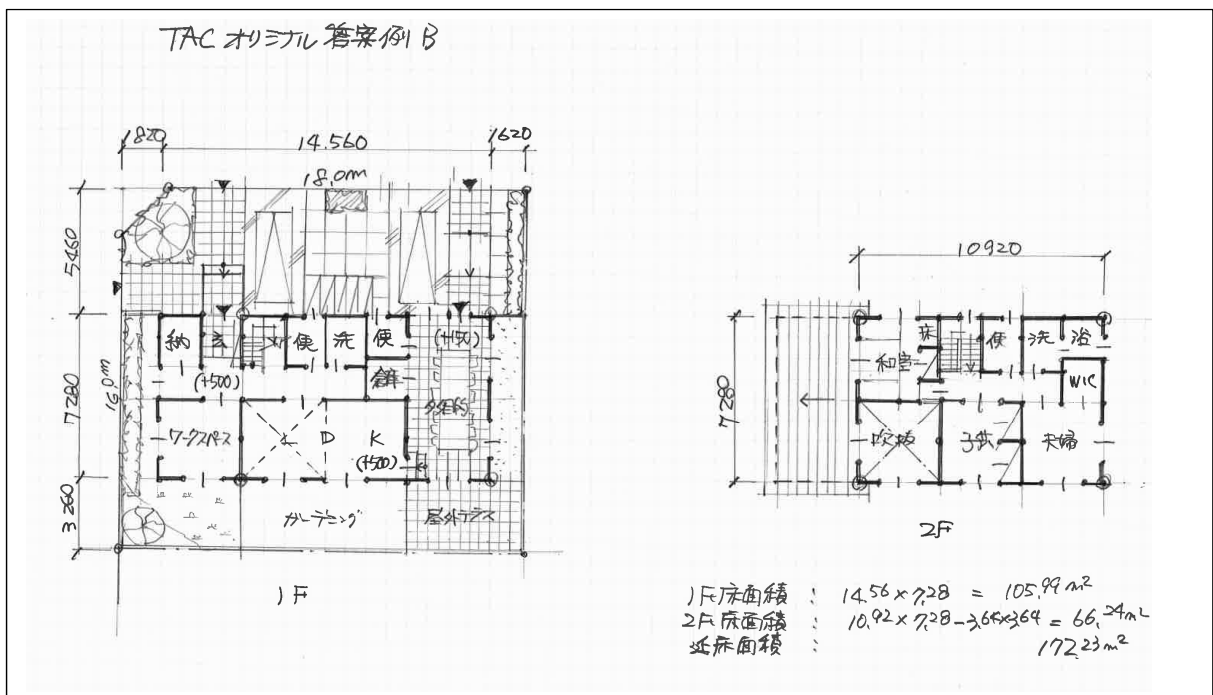
3.TACのオリジナル答案例

【プランA】



駐車スペースを北側と西側の二つに分けて、多目的室と住宅の玄関へのアプローチを明確に分離しました。このように駐車スペースを配置することで、建物をより北側に配置することができるので、南側のスペースが広いプランとなります。

【プランB】



駐車スペースを2台北側に取り、建物をシンプルな横長の形状としました。駐車スペースを北側に集めながらもアプローチ動線は明確に分離しています。東西に長い建物になるためワークスペースも南側に配置することができるのが良い点です。ただし、南側のスペースが北側に比べて狭くなるのが欠点です。

以上、本年度の問題の講評でした。

受験生の皆さん、本当にお疲れ様でした。今回の学習は、きっと皆さんの良い経験として記憶にきざまれたことと思います。まずはしっかり休んで、12月の吉報を待ちましょう。そして、次への一歩を始めてください。